



亀山市立野登小学校

No.19

令和8年10月15日

学校教育目標

地域とともに 仲間とともに 生き生きと活動する子の育成

5年生が稲刈りをしました。

1学期の田植え体験に引き続き、森川様にお世話になり、10月6日(火)に稲刈り体験を行いました。5年生児童は、田植え後も森川様と一緒に草取りを行ったり、畦草を刈ったりしながら収穫を楽しみにしてきました。今年は9月に入ってから雨の日が続く、森川様と稲刈りのタイミングをずっと相談させていただき、ようやく稲刈り体験を行うことができました。コンバインで刈り取る様子を見たことのある児童はいましたが、実際に稲刈りを体験したことのある児童がいなかったため、けがの無いように、株のつかみ方や鎌の使い方なども細かく教えていただきました。また、コンバインの内部も見せていただき、昔の道具が今の機械の構造にうまく組み込まれていることも知ることができました。今年の5年生は人数が少ないのですが、すべて手刈りでいき、刈り取った稲をコンバインで脱穀する方法で作業を進めました。少ない人数でも、手際よくみんなで協力して、1時間程度で刈り入れを終えることができ、稲穂を落とすことなく丁寧に頑張りました。刈り取りを終えた子どもたちは、「最初はコンバインに入れるのが怖かったけど、慣れてきて楽しかった。」「コンバインの仕組みが分かった。」「昔は全部手刈りだったから大変だったと思う。」と、感想を聞かせてくれました。



後日、「森川さんの米作り」についてお聞きしました。

子どもたちは、なぜ森川様が「にじのきらめき」という品種を選んで米作りをしているかなどの疑問をきっかけに、1学期から総合的な学習の時間に学んでいます。稲刈りの後、10月13日(月)に森川様をお招きし、これまでの体験を通して疑問に思ったことやもっと知りたいことをインタビューしました。「雨の日はどうな仕事をしているのですか?」「どうして野登で米作りをしているのですか?」などの子どもたちからの質問に答えながら、森川様の米作りに対する思いをお聞きしました。「どんどん米作りをする人がいなくなると田んぼが荒れていってしまう。米作りを一度止めてしまうと元に戻せなくなるので、少しでも自分にできることをして、次の人にバトンを渡していきたい。」と話されました。そして、子どもたちに「これから先、みんなには野登の変化を気にしてほしい。変化には人の思いが見えてくる。小さなことでも気にかけて、考えてほしい。」とメッセージをいただきました。この森川様の思いをみんなで受け止め、10月21日(水)の発表につなげていきたいと思っています。



後期児童会役員選挙を行いました。



9月25日(金)後期児童会役員選挙を行いました。選挙には8名の児童が立候補し、1週間の選挙期間を通じて、「どんな学校にしていきたいか」「そのために児童会でどのような活動をしていくか」を全校児童に伝えてきました。立会演説会においても、野登小学校をさらに良くするための思いを熱く訴えました。選挙権のある3～6年生の児童みんなが真剣に話を聞き、「自分たちの学校を自分たちで作っていく」という責任感をもって投票することの大切さを学ぶ機会となりました。今回の選挙は、投票用紙を使わずタブレット端末を活用して投票しました。新たに選ばれた児童会役員のみなさんには、こ

この野登小学校を自分たちでさらに良くしていくために、意見を出し合って充実した活動になるように、頑張っ
てほしいと思います。

また、10月6日(火)には、退任式と任命式を行いました。前期児童会役員からは、「みんながしっかり話を聞いてくれたので、みんなの前で話することに自信を持つことができた。協力してくれてありがとう。」と挨拶がありました。また、後期児童会役員からは、「この学校をもっと楽しい学校にしていきたい。」「全校遊びなどを考えていきます。」「明るい笑顔いっぱいの学校にしていきます。」などの所信表明がありました。この学校をつくっていくのは、子どもたち一人ひとりです。54人みんなの力で、残りの半年間、みんなが自慢できる学校にしていきたいと思います。

【後期児童会スローガン】

みんな きょうりよく 野登っこ
全員 主役・協力・強力

体験活動を通したキャリア教育(6年生)

森と木材のふれあい授業



10月6日(火)鈴鹿森林組合の方にお越しいただき、森林教育の授業を行っていただきました。亀山市は山や森林が多く、野登小学校でも豊かな自然に囲まれて学習を進めています。野登山・安楽川など、日頃の学びと結びつけながら森林組合の方のお話を聞きました。私たちの身近な森林が大雨や災害から私たちのくらしを守ってくれていることや、手入れをしないと山崩れを起こすこと、森林と川や海がつながっていることなどを学びました。実際に木の年輪を数えたり、亀山市産の杉の木でマイ箸作りを行ったりして、木の香りやぬくもりに触れる学習を行いました。身近な自然を守っていくためにも山の手入れをする林業の大切さを学ぶことができました。



鑄造体験教室

本校では、子どもたちの探究心を育むため、地域や専門機関と連携した体験活動を大切にしています。10月14日(水)、三重県立四日市工業高等学校「ものづくり創造専攻科」の皆さんをお迎えし、「鑄造体験教室」を行いました。今回は、学生の皆さんが、子どもたちに分かりやすく鑄物の仕組みや魅力を教えてくださいました。実際に砂で型を作り、そこに金属を流し込んで作品を作る本格的な工程を体験しました。普段の授業ではなかなか触れることのできない「職人の技」や「科学の不思議」「ものづくりの楽しさ」に、子どもたちは目を輝かせながら学ぶことができました。専攻科生の皆さんとの交流を通して、子どもたちが身近な工業や技術への関心を深め、将来の夢を広げるきっかけになった体験教室でした。

